



当消防本部では、平成30年9月1日(土)、防災の日に高度救助隊を発足、神栖消防署に配置し、同年9月4日(火)に「高度救助隊発足式」を行いました。

当日は、組合管理者に対し消防長が発足宣言、胸章及びエンブレムの交付、高度救助隊長が「今後も更なる技術、知識の向上を図り、市民の安心、安全を確保するため邁進していきます。」との決意表明を述べた後、来賓者に高度救助資機材を使用した展示訓練を披露しました。





### エンブレムデザインについて

鹿嶋市の鹿、神栖市の神を一文字ずつ取り、鹿の神としての角をマークとして入れ、消防ロープで括り、本結びで繋ぎ環としました。この環がそれぞれの隊の結束を表しています。エンブレムはマークと考え、また、今後オリンピック等の開催などもあり、国際化が見込まれるため、あえて漢字は使用せず英語のみの記載としました。

広報

# かみす

2018年  
No.291

10/15

Pick up

▶保育所(園)-認定こども園入所のご案内  
▶神栖市コミュニティバスの社会実験



## 神栖消防署 高度救助隊発足！

高度救助資機材を装備した救助工作車を駆使して  
人命救助にあたる機動部隊「高度救助隊」が9月1日に発足しました！  
火災、交通救助のほか、大規模災害やテロなどに対応します。

2018/10/15 広報かみすに掲載されました。

平成31年3月14日（木）、鹿島臨海鉄道株式会社敷地内において高度救助隊の訓練を実施しました。

この訓練は、日頃、触れる機会の少ない鉄道車両について、理解を深めることを目的に実施しました。

鹿島臨海鉄道株式会社職員から鉄道車両の構造、リフトアップポイント、手動によるドア開放要領等についての説明を受けた後、実車両を使用した資機材取扱い訓練、旅客気道車と普通乗用車の事故による想定訓練を実施しました。

想定訓練では、鉄道車両に挟まれた要救助者を救助工作車積載の資機材を使用し車両をリフトアップし救出、また車両内に取り残された要救助者の救出等を行いました。

今後も訓練等を実施することにより、現場対応能力の向上を図り、様々な災害に対応できるよう取り組んでいきます。



鹿島臨海鉄道株式会社職員による  
鉄道車両説明の様子



救助工作車積載の資機材を使用  
した車両をリフトアップした様子



車両内に取り残された要救助者救  
出の様子



鉄道車両に挟まれた要救助者救  
出の様子

令和元年12月4日（水）、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場である茨城県立カシマサッカースタジアムにおいて、高度救助隊によるテロ災害対応救助訓練を実施しました。

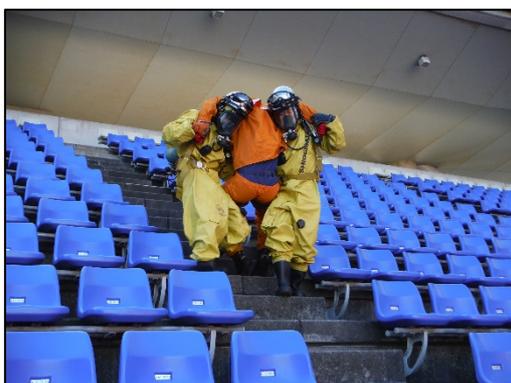
この訓練は、化学剤散布等によるテロ行為が行われ、観客席に多数の歩行困難者が発生したとの想定で、迅速で効率的な搬送方法を検討するために実施しました。

開催施設で化学防護服を装着し訓練を行ったことで、使用資機材の選定、搬送方法及び搬送時間を確認することができました。

今後も、様々な訓練を積み重ね、万全な態勢で望めるよう努めてまいります。



資機材を使用しての搬送の様子



徒手による搬送の様子